



朝 剣

朝剣通信179号 令和3年10月1日号

発行：朝霞市剣道連盟（市武道館）
http://asaken.suki-ari.net
編集：朝霞市剣道連盟事務局
住所：朝霞市本町1-12-3朝霞市立武道館
連絡先：平井 hirai.shigeoh@bmb.nifty.com

コロナ禍で思うこと

朝霞市剣道連盟
副会長 木村 健

二〇一九年末より始まったコロナウイルスの流行から早くも二年が経過しようとしています。その間、一年延期となった東京オリンピック・パラリンピックが開催され、選手から大きな感動や勇気をもたらしい、大いに盛り上がりました。一方で、ワクチン接種は進んでいるものの収束が見えない状況下で、特効薬の開発までは、各人の感染予防対策が必須で、今後も、制約を強いられていくのではないのでしょうか。

我々剣道人において、このような事態を誰が想像したでしょうか。飛沫感染対策のための面マスク、シールド着用での稽古。口元が覆われ、息苦しくて稽古ができるのかと思いましたが、今では物の性能の良化や慣れもあって稽古ができるようになりました。

しかし、まだまだマスクやシールドが手放せない日々が続きます。早く普通に稽古ができる日を切に願います。

対面生活が制限される中で、職場においては在宅勤務、学校や塾等においては、オンライン授業が行われ、非対面での活動が多くなりました。移動時間が短縮できる分、色々な人たちと知り合う機会も多くなったと思いますが、対面による相手の表情や仕草等による心理的な読み取りがわかりにくくなっていると思います。「働き方改革」の一環と言えは聞こえはいいですが、人間しかできない心の読解力が劣化していくことを、私は非常に危惧しております。人と人との対面にてコミュニケーションをとることの大切さを改めて感じる毎日です。

稽古が規制され、大会も中止となる中で、何を目標に稽古に取組んでいくべきでしょうか。試合の方法も変わっている中で、稽古の方法も変えなければいけない時期なのかもしれません。それこそ、オンラインで素振りを中心とした稽古を行い、実際の稽古では、習ったことを試してみる等、安心安全な稽古方法を検討しなければならぬのではないのでしょうか。悲観的に考えても始まりませんので、今できる範囲で、子供たち及び大人たちの稽古環境を整えていくことが非常に重要です。一日でも早く、竹刀の音や発声が道場に響き渡る、活気溢れる光景を見たいものです。これからの皆の協力の下、コロナ禍に負けず頑張っていきたいと思います。

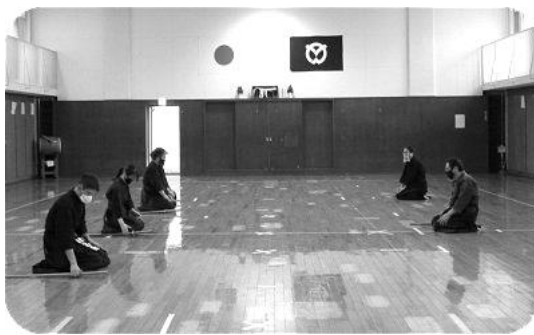
朝霞市剣連主催 剣道形講習会 (9/26市武道館)

九月二十六日(日) 市武道館において朝霞市剣道連盟主催の剣道形講習会を実施しました。

緊急事態宣言発令中ということもあり、小中学生の参加はなく一般のみでの実施となりました。出席者が少なかつた分、逆に密度の濃い充実した講習会となりました。指導は上村先生が担当されました。また、検温・アルコール消毒・記録をしっかりと行い、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施しました。

小人数ならではの充実した講習会

上村先生が担当されました



日本剣道形に真剣に取り組む受講生



木刀による剣道基本技稽古法

事務局からのご連絡

緊急事態宣言解除に伴い稽古スケジュールを以下の通りとします。

- ①日曜日 「小学生初級」 9:00~10:00、「中級」 10:00~11:00、「上級」 11:00~12:00、「一般」 12:00~13:30
- ②火・木曜 「小学生中級」 18:30~19:10、「上級」 19:10~19:50、「一般」 19:50~20:30

※変更があった場合は朝剣ホームページ等で都度ご案内します。

<http://asaken.suki-ari.net>

検温・消毒・記録の徹底

